



【釜山支店】

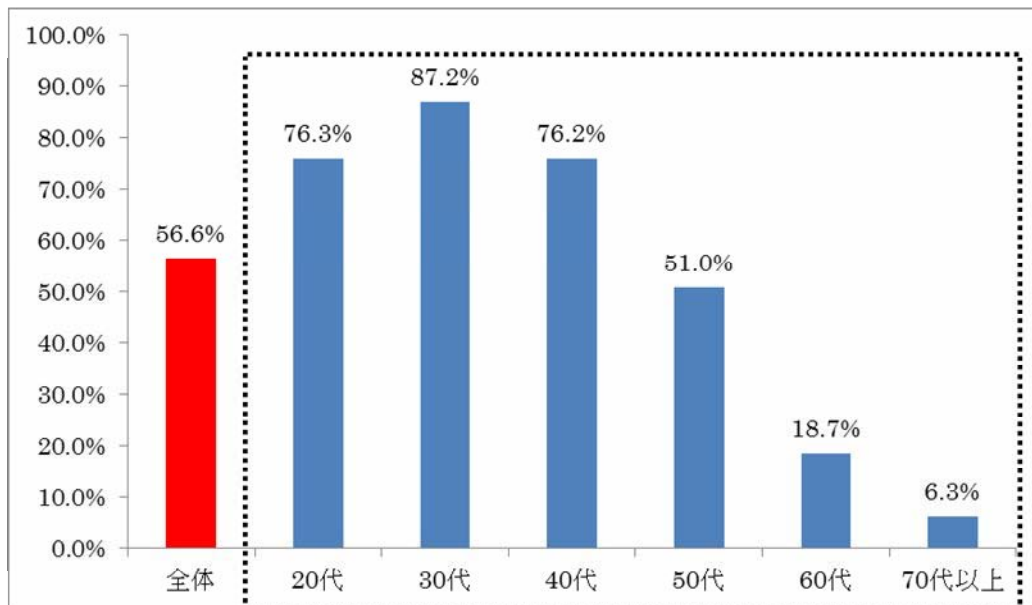
韓国ネットバンク戦国時代 ～後編～

1. はじめに

今回は、韓国ネットバンクの誕生と特徴についてお伝えしました（アジアニュース 2019年4月をご参照）。20代から40代を中心とした若い世代が対面取引から非対面取引にシフトしており、デジタル化が銀行の収益を左右する主因となっています。【図表1】

今回は、韓国国内の市中銀行の動向、韓国の銀行法、今後のネットバンクの事業展開について探っていききたいと思います。

【図表1】年代別モバイルバンキング※1利用率：非対面取引



出所：韓国銀行 資料 ※1 スマートフォン等のモバイル端末で利用するインターネットバンキング。

ネットバンクの誕生により韓国国内の市中銀行は「デジタルシフト」を最大の経営課題と掲げ、人材確保、インフラ構築、技術提携など様々な方法で非対面取引の強化を図っています。かつて対面取引が中心であった市中銀行の対面取引割合は既に一桁台まで落ち込んでいます。韓国銀行によると、入出金や振込件数でインターネットバンキング（モバイルバンキングを含む）が占める割合は、2018年12月基準で53.2%と半数

を超え、銀行窓口の利用割合は8.8%でした。今後、銀行窓口にお客様の来店が全くない日も来るかもしれません。【図表2】

【図表2】チャネル別業務処理割合(入出金及び振込取引件数基準) (%)

	窓口	CD/ATM	テレバンキング	インターネットバンキング	全体
2017年6月	10.6	37.8	10.5	41.1	100.0
12月	10.0	34.7	9.9	45.4	100.0
2018年6月	8.8	34.3	7.5	49.4	100.0
12月	8.8	30.1	7.9	53.2	100.0

出所：韓国銀行 資料(該当月の日別件数合計基準)

## 2. 市中銀行の対応

現状、韓国国内のネットバンクで口座開設ができる人は、韓国内居住者の中でも住民登録証<sup>※2</sup>または運転免許証を保有している個人に限定されています(非対面による認証が限定されているため)。そのため、残念ながら海外送金需要の高い外国人はKbankやカカオバンクといったネットバンクを利用することができず、潜在的なニーズを逃している状況です(韓国居住の外国人 約200万人)。また、スマートフォンを使用する高齢者が増加傾向にある中、シニア世代はまだ非対面の取引に抵抗感や拒否感を抱いており、ネットバンクに口座を保有する65歳以上の加入者は1%に満たない状況です(Kbank 0.8%、カカオバンク 0.6%)。

市中銀行はネットバンクが対応できていない外国人やシニア世代をターゲットとしたサービスや店舗運営に力を入れており、韓国4大銀行(新韓銀行、ウリ銀行、ハナ銀行、国民銀行)の対応は【図表3】のとおりとなっています。

【図表3】韓国4大銀行の対応

銀行名	内容
新韓銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11ヶ国の言語に対応した外国人専用のモバイルアプリケーション<sup>※3</sup>を通じ、海外送金や公共料金支払等を簡単に処理。</li> <li>・モバイルアプリケーションを通じて、ロボアドバイザー<sup>※4</sup>による資産・年金管理。</li> </ul>
ウリ銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8ヶ国の言語に対応した外国人専用のモバイルアプリケーション。海外送金を素早く、安く(手数料:約500円)対応。</li> <li>・高齢者向けモバイルアプリケーション。音声コマンドのみで金融取引が可能な音声認識AIバンキングを提供。</li> <li>・オンラインプラットフォームを構築し、シニア向けに金融、旅行、健康、雇用などの情報を提供。</li> </ul>
ハナ銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人労働者が多い地域で休日営業対応。外国人スタッフを配置し、両替、送金、口座開設、カード発行等に対応。</li> <li>・外国人労働者を対象とした韓国語教室を開催。</li> <li>・シニア専門の金融カウンセラーを多数配置。</li> </ul>

国民銀行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人労働者が多い地域で、外国為替送金センターを設け、休日営業対応（外国人スタッフ常駐）。</li> <li>・外国人労働者を対象とした韓国語教室を開催、医療ボランティア活動を実施。</li> <li>・高齢者向けにカスタマイズしたモバイルアプリケーションを提供。大きな文字で簡単に操作可能。</li> </ul>
------	---

市中銀行は非対面取引を強化する中で、対面取引をうまく活用しながら、外国人、シニア層の囲い込みを図っています。一方で、店舗が高コスト（人件費、家賃、光熱費等）で低効率であるため、銀行の店舗数は年々減少傾向にあり、選択と集中を迫られています。

モバイルプラットフォーム<sup>※5</sup>の構築、業務プロセスの改善に重点を置いたデジタルシフトは初期段階であり、今後はビッグデータとAI（人工知能）を用いてお客様のニーズや課題に沿った提案を具体化できるような新たなサービスを模索中です。

※2 出生時に与えられる住民識別番号。日本のマイナンバーと同様のもの。

※3 スマートフォンやタブレット型端末向けのアプリケーションソフト。

※4 ロボットと投資専門家の合成語。

※5 スマートフォン等のモバイル端末向けのオペレーティングシステム(OS)。

### 3. 韓国の銀行法

カカオバンクは2019年3月の第1四半期決算で66億ウォン（約6.3億円）の利益を計上し、営業開始1年8ヶ月で黒字転換しました。顧客数も4月末基準で約930万人と1,000万人を目前に迫る勢いで業績は右肩上がりに推移しています。一方、同年に営業開始したKbankは、赤字から脱却できていない状況です。銀行が融資残高を増やすためには一定の資本金が必要です。Kbankは韓国の銀産分離規制<sup>※6</sup>のため、大株主のKT（通信最大手）が増資できず、資本金不足（カカオバンクの1/3の資本金）から一部のローン商品の販売を停止する等、顧客離れの動きも見られます。同時期に誕生した2つのネットバンクですが、両者の明暗はくっきり分かれました。

韓国ではネットバンク設立にかかる関連法の一部規制緩和があったものの、関連規制が整備されないままネットバンクが誕生したため、事業運営上の障害となっています。一方、日本はネットバンクに対して従来の銀行規制を求めなかったため、楽天銀行やソニー銀行といった大規模なインターネットバンクが誕生しました。韓国最大のポータルサイトNAVER（LINEの親会社）が早い段階で韓国ネットバンク参入を辞退した理由も以上のような法規制がビジネス展開する上での障壁となると判断したからと考えられています。

※6 銀産分離規制・・・産業資本による銀行株式の所有を制限するもの。産業資本は銀行の株式を4%、議決権なしの株式を10%までしか保有できない。

#### 4. おわりに

前編・後編を通じて韓国におけるネットバンクについてお届けしました。韓国のネットバンクにおいては資本規制等の課題もありますが、規制緩和の流れもありネットバンク参入のハードルは低くなりつつあります。販売網と顧客基盤を持つ小売業、ビッグデータを保有する IT 企業、革新的なアイデアや技術を持つベンチャー企業等、従来の銀行にはない武器を持った異業種のネットバンク参入が期待されています。今後は Google、Apple、Facebook、Amazon のような巨大 IT 企業の参入があるかもしれません。

異業種が銀行業務に参入してくるようになり、銀行もこれまで行ってこなかった事業外の領域に進出し、新たなビジネスを模索しています。

山口フィナンシャルグループは異業種との事業提携やスタートアッププログラム等を通じ、地域の皆様と深く関わっています。皆様との関わりを通じ、共に発展し、新たなビジネスチャンスを探していきたいと思っております。

(山口銀行釜山支店 久保田 大介)

#### 【参考文献】

韓国経済マガジン 「リーディングバンク」ではなく、「脱銀行」 叫ぶ頭取達 なぜ？

[http://magazine.hankyung.com/money/apps/news?popup=0&nid=02&c1=2002&nkey=2019042500168000022&mode=sub\\_view](http://magazine.hankyung.com/money/apps/news?popup=0&nid=02&c1=2002&nkey=2019042500168000022&mode=sub_view)

毎日日報 銀行圏 デジタルファースト 3行の戦略

<http://www.m-i.kr/news/articleView.html?idxno=606061>

毎日日報 70以上 高齢者 6%台 モバイルバンキング利用

<http://www.m-i.kr/news/articleView.html?idxno=601515>

マネートゥデイ 大きくなる海外送金市場 銀行圏外国人集客総力戦

<http://news.mt.co.kr/mtview.php?no=2019052013245486076>

Mエコノミー デジタル簡素化した銀行業務 高齢者は「金融疎外」

<http://www.m-economynews.com/news/article.html?no=25113>

ソウル新聞 ネットバンクに高齢者はいない

<https://n.news.naver.com/article/081/0002980870>

聯合ニュース モバイルバイキング 1日5兆ウォン突破

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20190328080900002?input=1195m>